

日中嚴重之儀也、自別當坊至赤橋、供奉人騎馬、

〔成氏年中行事正月〕一同廿三日、鶴岡御社參、日限雖不相定、依爲廿日比、廿餘日ニ如此記之、○中御幣ノ役ハ置石チカクニテ馬ヨリヲリテ、馬ヲバアカ橋ヨリ石ノキワ、山ノ内ノカタヘニヒカヘ

サセテ、御輿ノチカクナル時、赤橋ノツメニ畏テ、御輿赤橋ヲコユル時、御供イタシ、御幣ノ役モ被參也、公方様御馬ヲバ赤橋ノ左ノカタ、置石ノキワ、西ムキニヒカヘ申也、

〔快元僧都記〕天文三年十一月廿二日、橋本九郎五郎七日被參、今日爲結願、亡父宮内丞赤橋修造、今

日亦其儀思可被掛赤橋、御圖於御寶前被取之、於小別當、如形祝儀有之、七年六月十七日、芹澤紺搔男左衛門夢云、當社赤橋可懸然者、福山之上、杉三侯可有之、尋而見之、果而如夢中、八年十一月一、○中赤橋材木橋際引付、本願入道以土車引之、十年七月、孫左衛門尉赤橋可懸義、以下知相定畢、

八月、材木前濱引付、赤橋ニ積之、十一壬子年、赤橋小屋入等有之、五月十四日、大平柱等立之、〔東海道名所記〕鶴が岡に行いたれば、濱べよりそりはし橋○赤まで八幡の鳥井三重あり、橋を渡りて門に入、右のかたに大塔あり、

武藏國
六郷橋

〔和漢名數地理〕東路大橋○中 六郷武州

〔書言字考節用集十數〕東武三大橋（中略）六郷

〔江戸鹿子五〕三大橋○中 六郷橋 川崎村

〔國花萬葉記七下〕武藏六郷橋三大橋ノ内

〔玉露叢三十六〕一武州六郷ノ橋ハ、長百九間アリ、

〔東海道名所記〕六郷の橋、ながさ百廿間なり、

〔武江年表〕慶長五年、六郷橋再掛る、長百廿間と云

〔丙辰紀行〕吉田